

土木学会「行動する技術者たち小委員会」活動紹介

地域の課題解決から 新しい共通価値の創造へ

土木学会 西部支部 沖縄会 主催

行動する技術者たちセミナー ～沖縄で育む「行動する技術者」～
150115@沖縄県立博物館美術館 講堂

～ Menu ～

1. これまでの活動経緯 ～10年目を迎える活動～
2. 活動の「中間まとめ」～学会100周年記念出版～
3. 「行動する技術者たち」を追い求める意味
4. 小委員会活動が目ざすもの・期待すること

よろしくお願いします
いたします



土木学会 / 行動する技術者たち小委員会
幹事長 渡邊 一成
(福山市立大学都市経営学部 教授)

1. これまでの活動経緯 ～10年目を迎える活動～



土木学会 / 教育企画・人材育成委員会
行動する技術者たち小委員会
(幹事長) 福山市立大学 渡邊一成

「行動する技術者たち」これまでの取り組み

2004(平成16)年 森地茂先生 / 第92代土木学会 会長

～2005(平成17)年 【森地研究会 / 21世紀の土木技術者】

- ・ 今後の国土・地方の再生を考えるに当って 個々の土木技術者の役割が重要
- ・ 土木及び周辺の多様な分野において 「国土・地域づくりのプロデューサー」として現役で頑張っている技術者に焦点を当てる ことが必要
- ・ 土木技術者の役割も構造、地盤、水理等の個々の専門的な課題解決から 多様化・複雑化する地域の課題解決へと拡大 することが必要

↓ 現在まで頑張ってきている技術者たち(行動する技術者たち)を取材・整理・紹介

2005.10 「行動する技術者たち」企画 → 取材班の立ち上げ → 取材スタート

2006.2 土木学会誌連載開始

コンパクト(A4版2枚, 学会誌の見開き1ページ)に技術者の取り組みを紹介

2008.5 土木学会誌連載終了(全20回, 19人の技術者を紹介)

最終回 森地先生、古木氏(当時: 土木学会 専務理事) インタビュー

↓ 連載の新たな方法を探る

2009.1 土木学会HP(Web版)連載開始

【学会誌連載から継続したこと】

- ・ 取材を中心とした原稿作成
- ・ 原稿の体裁は学会誌版を継続

【新たに取組んだこと】

- ・ 取材班のメンバー拡充
- ・ ゼネコン編、市長編等の取り組み

2015.1 現在56人目[関東学院大 若松先生] 掲載

↓ 啓発活動への着手

2008.11 「押しかけ講座」スタート

業界団体, 大学, JICA等
講座用テキストの作成

2012.10 土木学会教育企画・人材育成委員会に「行動する技術者たち小委員会」発足

2014.11 土木学会100周年記念事業として書籍出版

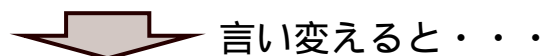
1. これまでの活動経緯 ～10年目を迎える活動～



土木学会 / 教育企画・人材育成委員会
行動する技術者たち小委員会
(幹事長) 福山市立大学 渡邊一成

「行動する技術者」とは？

近年の多様化する市民ニーズ、複雑な課題や、めまぐるしく変化する社会経済情勢を踏まえ、これからの国土・地域づくりに取り組む土木技術者や同様の意思と実績を持つ技術者



土木工学が本来持つ「国民・市民のための総合工学」を実践している土木技術者や同様の意思と実績を持つ技術者

技術者紹介の趣旨

各地域の再生に向けて、

- ・ **新しい価値をつくり出し**
- ・ **新たな時代の国土・地域づくりに対する先駆者たちの努力と挑戦の取り組み**

を紹介することを通じ、これからの技術者に求められる資質を探る
取り上げる技術者については、ハード・ソフトの取り組み分野、活動する地域等の偏りを考慮

A4版2枚

タイトルを練る



1. これまでの活動経緯 ～10年目を迎える活動～



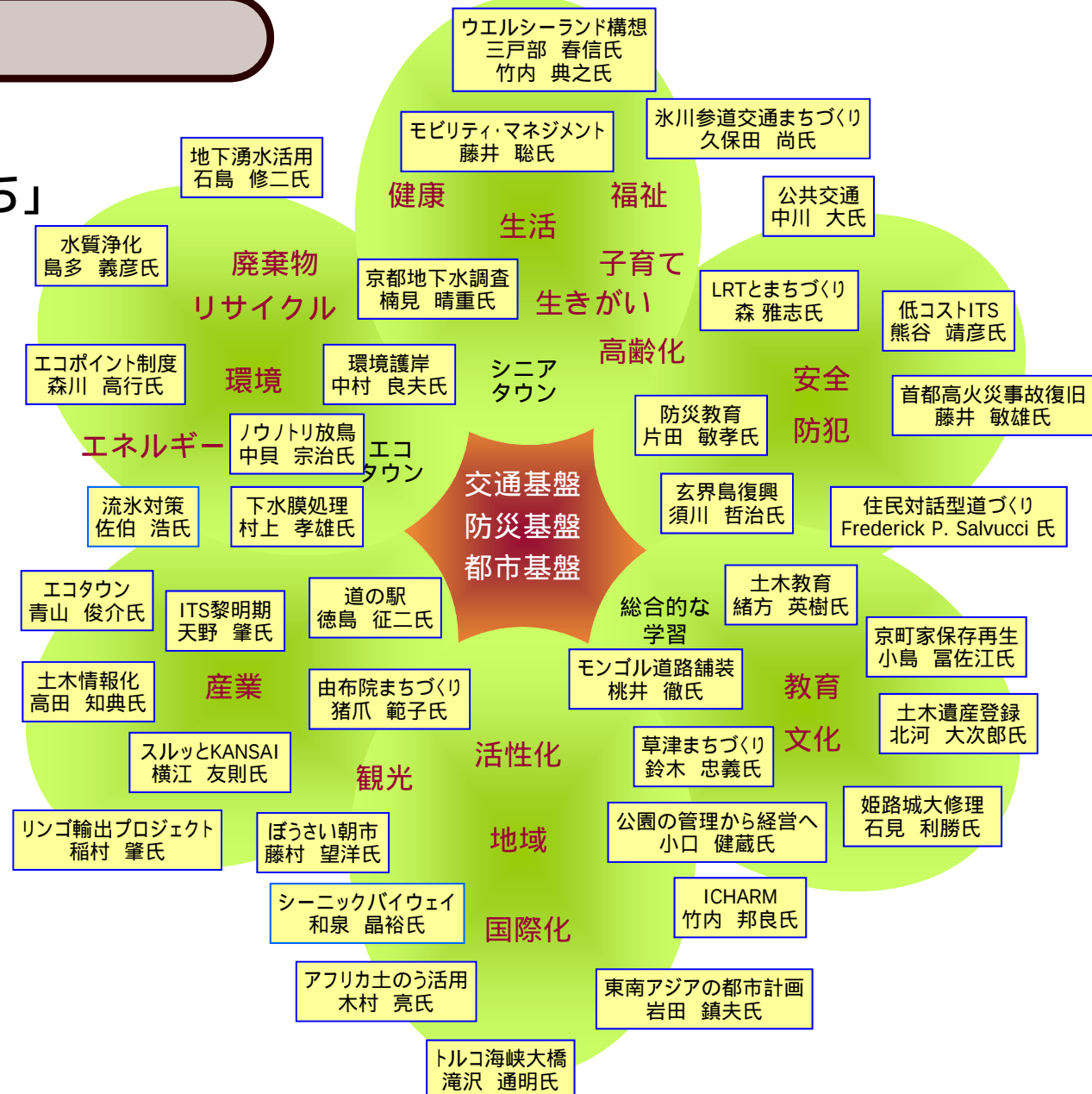
土木学会 / 教育企画・人材育成委員会
行動する技術者たち小委員会
(幹事長) 福山市立大学 渡邊一成

先駆的な技術者たち

土木学会誌等での 「行動する技術者たち」 の紹介事例

土木工学の基礎となる、交通基盤・防災基盤・都市基盤を中心として、これに関連する分野を放射状に整理し、当該技術者の活動分野を配置

様々な分野で活動する技術者をバランス良く紹介していくことに配慮

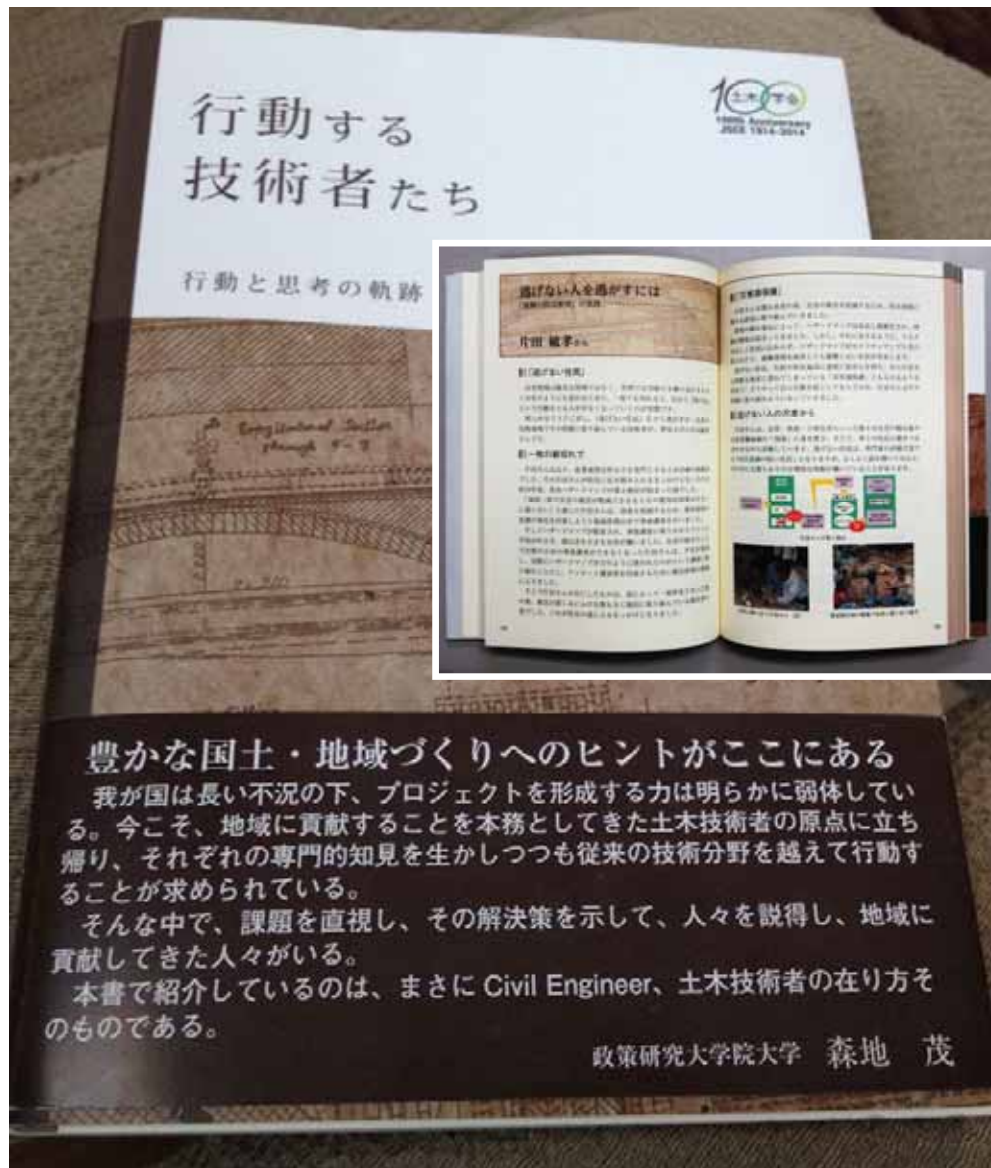


2. 活動の「中間まとめ」～学会100周年記念出版～



土木学会 / 教育企画・人材育成委員会
行動する技術者たち小委員会
(幹事長) 福山市立大学 渡邊一成

土木学会100周年記念出版



- 土木学会「行動する技術者たち～行動と思考の軌跡～」A5版、カラー245頁、2014年11月発行、定価¥1200+税

『行動する技術者たち』発刊

土木学会は、創立100周年記念事業の一環として『行動する技術者たち』(行動と思考の軌跡)を出版した。55人の技術者たちが事業を進める上で直面した課題にどう対応し、どう地域に貢献したかなどがとづられている。

土木学会100周年

同学会教育企画・人材育成委員会「行動する技術者たち」小委員会(委員長・塚田幸広土木研究所研究調整監)が編集を担当した。技術者たちは、各種事業を進める上で、さまざまな課題に直面する。例えば交

55人が考え、実践したこと紹介

通手段としての自動車依存の割合を減らすにはどうすればよいのか。名古屋大学の森川篤行教授は自治体やNPOなどと共同で「交通エコポイント」を創設した。本書ではこうした土木工学が本来持つ「市民のための総合工学」を実践している人たちの考え方やその施策の展開方法などが紹介されている。

掲載されている55人は土木学会誌や土木学会WEBで紹介された人々。この中には土木技術者ではないが、地域のまちづくりや環境保全などに脚を振った中目黒市市長や石見県勝田市市長も含まれている。

A5判245頁、定価は1298円(税込み、会員は1170円、送料別)。問い合わせは同学会出版事業課(電話03・33355・3445)へ。

日刊建設工業新聞(150104)掲載

福山市立大学都市経営学部では「都市基盤施設論」の教科書(副読本)に指定

本日は特価1000円(税込)で販売!

2. 活動の「中間まとめ」～学会100周年記念出版～



土木学会 / 教育企画・人材育成委員会
行動する技術者たち小委員会
(幹事長) 福山市立大学 渡邊一成

土木学会100周年記念出版

4 頁で 1 人の技術者を紹介



目次 / 章立て	掲載人数	主な掲載事例
・ <u>持続可能な暮らし・交通</u> を創出する	7 名	○ エコポイントによる交通戦略(森川高行氏) ○ 観光を活かした地域計画(鈴木忠義氏)
・ 地域の <u>環境を保全し創造</u> する	5 名	○ 古都1200年の地下水(楠見晴重氏) ○ 姿見の池を復活させた事業連携(石島修二氏)
・ 新たな <u>地域づくり</u> を展開する	6 名	○ 環境と経済が両立した地域活性(中貝宗治氏) ○ 「道の駅」の出発点(徳島征二氏)
・ 地域の <u>産業・雇用を創出</u> する	6 名	○ 中国に日本のリンゴを輸出(稲村肇氏) ○ 世界をリードする環境産業(青山俊介氏)
・ <u>安心安全</u> を支える	5 名	○ くもの巣原理による自然保護(岩佐直人氏) ○ 身の丈に合わせた I T 技術活用(熊谷靖彦氏)
・ <u>コミュニケーション</u> の重要性を訴える	5 名	○ 「理解の防災教育」の実践(片田敏孝氏) ○ 玄界島震災復興の取組み(須川哲治氏)
・ 誇るべき <u>美しい地域</u> を守る	6 名	○ 消えてゆく京町家の保存(小島富佐江氏) ○ 姫路城大天守保存修理の取組み(石見利勝氏)
・ <u>インフラを支える技術</u> を創出・継承する	6 名	○ L N G 貯蔵用地下タンク(黒田正信氏) ○ ダム現場に育てられた技術者(高田悦久氏)
・ <u>海外</u> で活躍する	9 名	○ 「土のう」が生活と意識を変えた(木村亮氏) ○ 気候風土が似た台湾での新幹線(田中宏昌氏)

3. 「行動する技術者たち」を追い求める意味

土木技術者をめぐる社会経済情勢

- ・土木技術者は、市民の要望に対し、社会資本をつくることを通じて、社会や地域を少しでも良くすることを使命として「国土・地域づくりのプロデューサー」の役割を果たしてきた。
- ・結果として、この国は、狭い国土や複雑な地形、度重なる災害などの制約や困難を克服しつつ、著しい経済成長を遂げ、今日の社会や地域をつくりあげてきた。

国民所得倍増計画

「太平洋ベルト地帯構想」、東海道新幹線、東名自動車道等

国土計画

- ・全国総合開発計画(全総) 昭和37年
→「拠点開発方式」
- ・新全総(昭和44年)
→大規模開発プロジェクト構想
- ・三全総(昭和52年)
→「定住構想」
- ・四全総(昭和62年)
→「多極分散型国土形成」

各種五カ年計画

- ・道路整備五箇年計画
- ・空港整備五箇年計画 等



社会資本の量の拡大に取り組む

3. 「行動する技術者たち」を追い求める意味

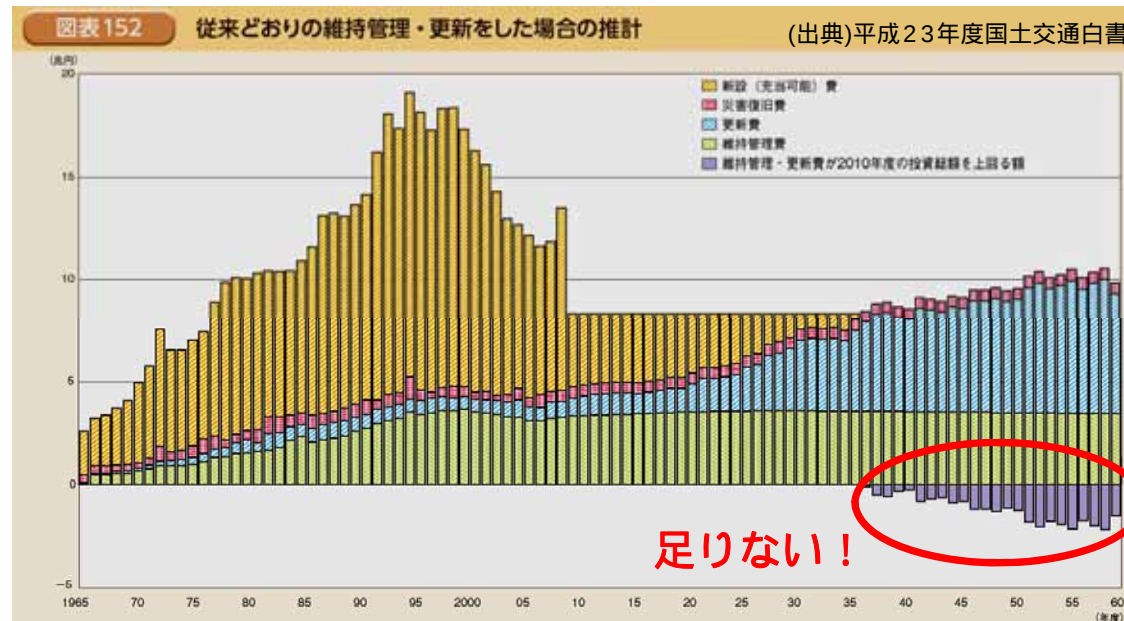
社会資本を取り巻く環境変化（バブル以降）

社会経済情勢の転換期

- 本格的な人口減少社会の到来、急速な高齢化の進展
- グローバル化の進展と東アジアの経済発展
- 安全・安心、地球環境、美しさや文化に対する国民意識の高まり
- ライフスタイルの多様化
- 情報通信技術の発達
- 「公」の役割を果たす主体の成長 等



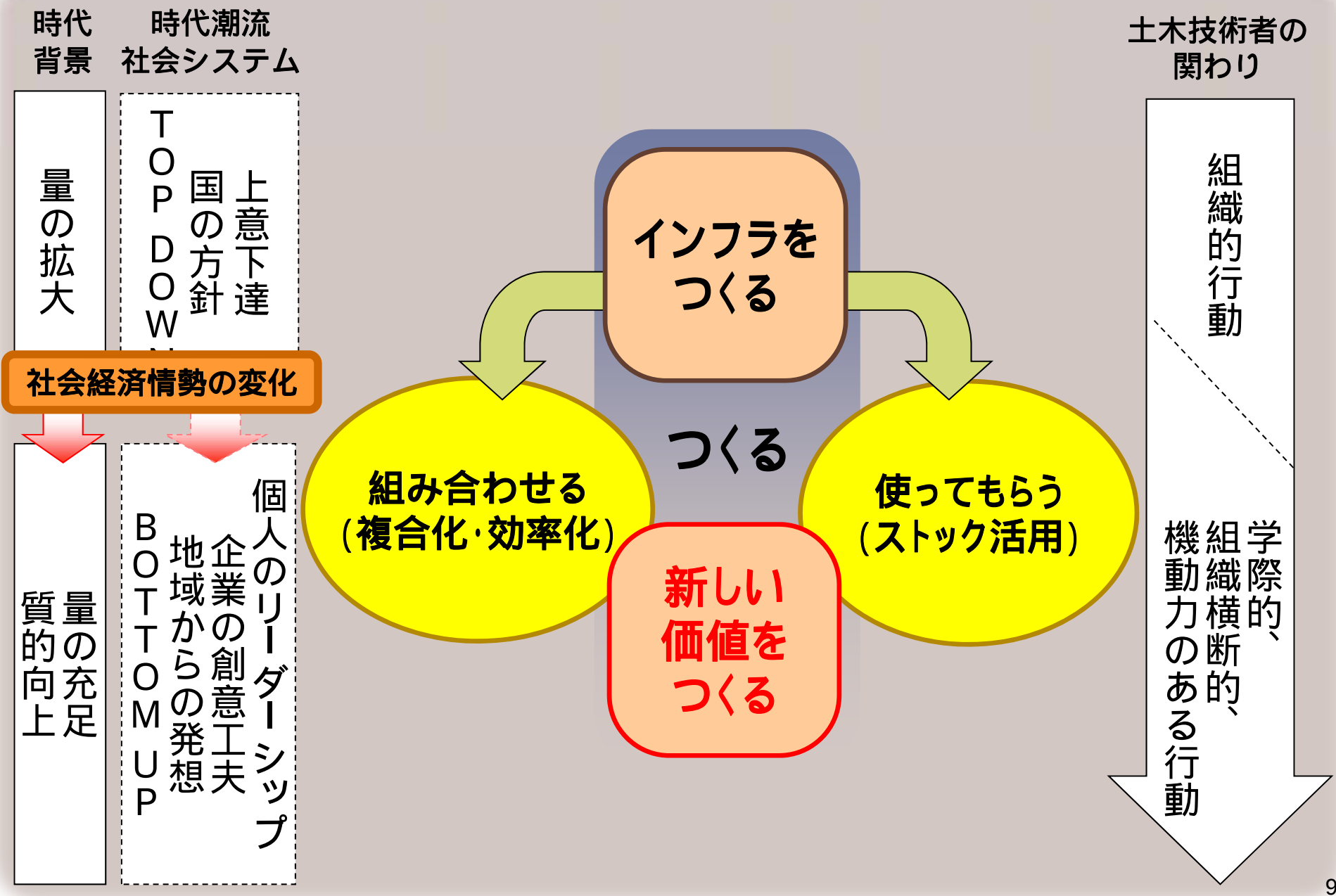
公共投資不要論，充実論 国・自治体等の財政制約 制度改革
目ざすべき社会の方向性の変化 来るべき社会資本の更新期 等



量の充足とともに
質的向上が求められる

↓
技術者に求められる
役割も変わる

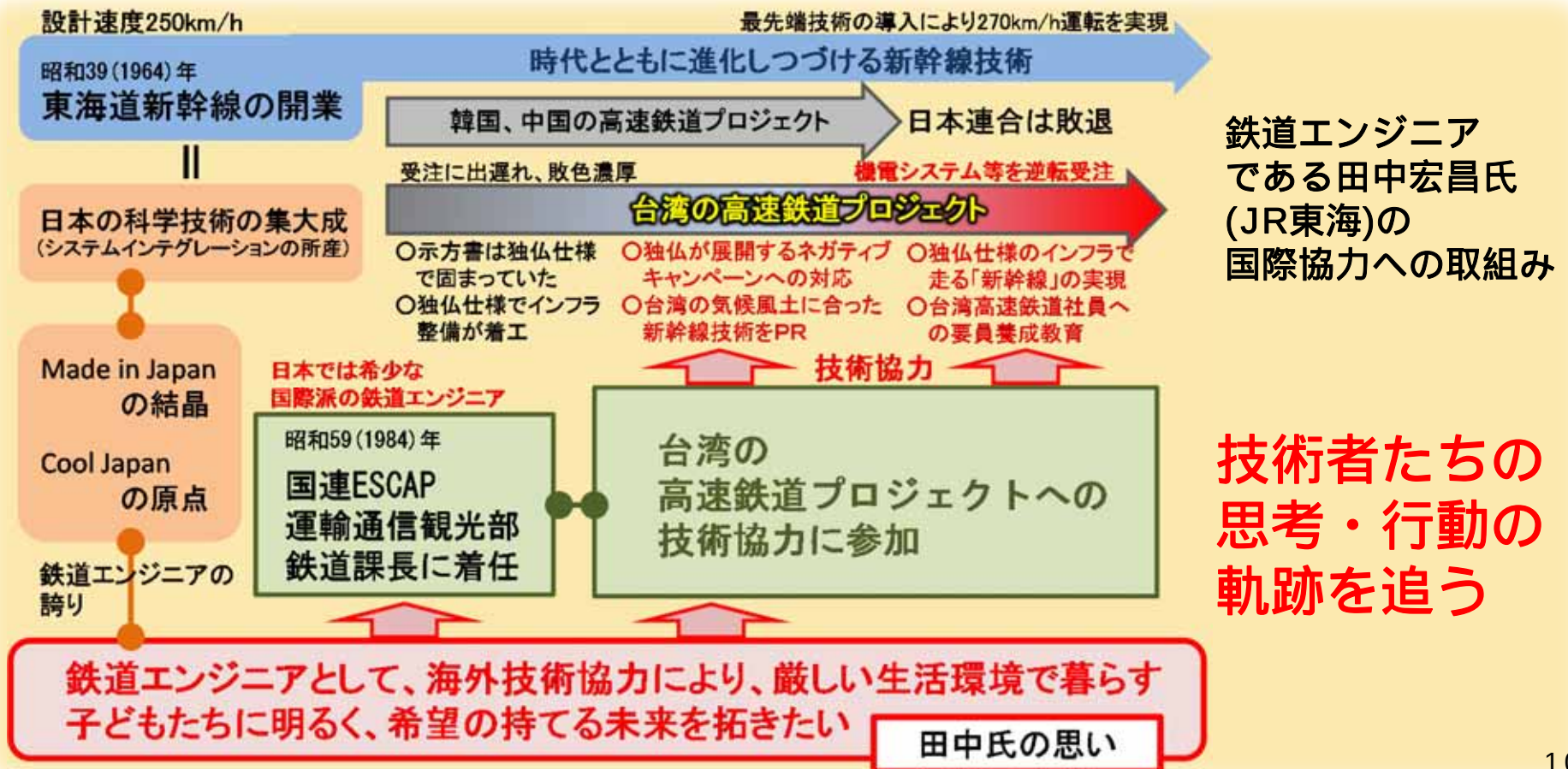
3. 「行動する技術者たち」を追い求める意味



3. 「行動する技術者たち」を追い求める意味

「行動する技術者たち」を追い求める意味

- ・「行動する技術者たち」は、社会情勢の変化に対応し、地域課題を解決してきた先進事例
- ・技術者たちが、どのように地域の協調行動を生み出し、課題の解決に至ったかを知ることが、今後の技術者の役割を考える上で重要



4. 小委員会活動が目ざすもの・期待すること



土木学会 / 教育企画・人材育成委員会
行動する技術者たち小委員会
(幹事長) 福山市立大学 渡邊一成

若手技術者へのメッセージ

土木学会誌 連載「行動する技術者たち」
第20回 森地先生からのメッセージ

- ・ 国、組織の枠を越えた発想をすること
- ・ 課題を抽象化せず、具現化し、解決策を模索すること
- ・ 国際的センス、広域的発想のために旅をすること
- ・ 多くの人々とのコミュニケーションを数多く経験すること
- ・ 人任せにせず、自ら体現すること



つまり・・・

誰もが「行動する技術者」であれ！



ご清聴 ありがとうございました

「行動する技術者たち」取材班 (土木学会 教育企画・人材育成委員会 行動する技術者たち小委員会)

顧問：森地 茂 (政策研究大学院大学)
古木 守靖 (独立行政法人国際協力機構)

取材班：塚田 幸広 (独立行政法人土木研究所 / 小委員会委員長)
渡邊 一成 (福山市立大学 / 小委員会幹事長)
稲田 恭子 (中央復建コンサルタンツ株式会社)
大久保 証文 (株式会社エイト日本技術開発)
大橋 幸子 (国土交通省国土技術政策総合研究所)
交久瀬 磨衣子 (株式会社環境総合テクノス)
鈴木 学 (三重県庁)
高田 知典 (PHM (Professional Hub Members))
田上 貴士 (一般財団法人日本みち研究所)
友寄 孝 (一般社団法人沖縄しまたて協会)
野見山 尚志 (株式会社建設技術研究所)
原文宏 (一般社団法人北海道開発技術センター)
松田 奈緒子 (国土交通省国土技術政策総合研究所)
森島 仁 (株式会社日建設計)
門間 俊幸 (兵庫県庁)

【連絡先】

〒721-0964
広島県福山市港町2-19-1
福山市立大学 都市経営学部
渡邊 一成 (WATANABE Kazunari)
電話：084-999-1122 (直通)
FAX：084-928-1248
e-mail：kz-watanabe@fcu.ac.jp